

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
3817108	アウトドア演習 Outdoor Exercises	古橋 敬一			1	選択	1. 2前期・集中
科目の概要							
人は日常生活において便利で快適な暮らしを指向する。しかしその一方では環境破壊の問題が深刻化しつつある。この演習では、自然とどのように共存していくのかも視野に入れ、大自然の中での非日常的な生活や活動にあえてチャレンジし、アウトドア活動を身近に親しむための基礎的知識・技能の習得をめざす。前期に集中講義として学外のキャンプ場を拠点に、夏のアウトドア体験を行う。そして、この授業はディプロマポリシーの①②③④⑥に相当し、これらを身につけるために展開していく。							
学修内容			到達目標				
① 生涯を通じて日常的な生活においてもレクリエーションが習慣化される。 ② 合宿を通して、集団におけるコミュニケーション能力を高め、社会性を身につける。 ③ 基本的なアウトドア技能を身につけ、日常生活における生活活動の円滑化を図る。 ④ 社会的ルールや運営方法などを身につける。 ⑤ 原始的な生活を体験することで、人間本来の生きていく力を育む。			① 日常生活の中でレクリエーション活動が習慣化できる。それによってディプロマポリシーの②③④を身につけることができる。 ② 合宿によるレクリエーション活動を通して社会性を身につけることができる。それによってディプロマポリシーの①②③④を身につけることができる。 ③ アウトドア活動の基礎的スキルを身につけ、円滑な活動ができるようになる。それによってディプロマポリシーの①②③④を身につけることができる。 ④ ルールや運営方法などを理解し、運営能力を身につけることができる。それによってディプロマポリシーの②③④⑥を身につけることができる。 ⑤ 全体を通じて生きるためにはということの理解を深め、キャンプ活動の意識を高めることができる。それによってディプロマポリシーの①②③④⑥を身につけることができる。				
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	積極的にキャンプ活動に参加し、自分の役割を果たす。					
	働きかけ力						
	実行力	キャンプ活動に粘り強く取り組み、様々な課題の目標を達成する。					
考え抜く力	課題発見力	キャンプ活動を通じて、生きていく上で必要不可欠な基本課題を発見する。					
	計画力	どのようなキャンプ活動をするか計画する。					
	創造力	キャンプの中で新たなレクリエーション種目を創り出すことを念頭に活動する。					
チームで働く力	発信力	キャンプ活動の中で自分の考えを提案する。					
	傾聴力	キャンプ活動の中で、他人の考えをしっかりと把握する。					
	柔軟性	キャンプ活動の中で意見の相違があっても、柔軟に対処する。					
	状況把握力	キャンプ活動の中で、どういう場面であるかを常に把握して対処する。					
	規律性	遅刻・無断欠席など、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力	合宿における様々な困難に対して心身を安寧にコントロールする。					
テキスト及び参考文献							
テキスト：なし。必要に応じて、各授業時間にプリントを配布。 費用（交通費・宿泊費・食費）は約1万円前後を予定。（実費各自負担）							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：「レクリエーション論」、「レクリエーション実技」、「生涯スポーツ」、「レクリエーション実習」他 資格との関連：レクリエーションインストラクター							
学修上の助言			受講生とのルール				
基本的には学外のキャンプ場に赴き、体験してくる。例年、夏に2泊3日、岐阜か長野県方面のキャンプ場で、定員20名。基本的にはグループ活動により展開していく。キャンプについての予備知識を事前に予習しておくこと。			学外において、変則的な集中活動になるので、活動内容を十分に理解し、外部諸団体に迷惑をかけないように注意すること。特に指定時間や、連絡等は必ず決められたように守ること。直前のキャンセルはできません。				

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		レポート	20	①	✓			・ 毎回の課題に対して、キャンプ活動を理解して実践してきたかどうかをレポートから評価する。 ・ 参加者たちとのコミュニケーションがうまく取れていたかどうかを評価する。 ・ 知識と技術の獲得とそれを活用し、グループワークでの課題を解決できたかどうかのpisa型学力も評価する。
				②				
				③				
				④				
				⑤	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	70	①	✓			・ 毎回の課題である野外調理・レクリエーション企画・沢登りなど、キャンプ活動の実技の成果を評価する。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			・ 前項に明記した社会人基礎力に関する行動事例にも基づいて学修態度を評価する。 (主体性) ・ 積極的に活動に参加し、自分の役割を果たしているか。 (実行力) ・ 活動に粘り強く取り組み、様々な課題の目標を達成しているか。 (課題発見力) ・ 活動を通じて、生きていく上で必要不可欠な基本課題を発見しているか。 (創造力) ・ 活動の中で新たなレクリエーション種目を創り出すことを念頭に活動しているか。 (発信力) ・ 活動の中で自分の考えを提案することができているか。 (傾聴力) ・ 活動の中で、他人の考えをしっかりと把握することができているか、また私語に夢中になって、指示等が聞けない者は減点の対象とする。 (規律性) ・ 遅刻・無断欠席など学習意欲の欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ・ 欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
授業で学んだ様々なアウトドアのレクリエーションの知識を体系的に理解し、自分に合った実施計画を立てて実践し、将来的に習慣的にキャンプ実践することができると思われる場合A(優)。 さらに、将来的に計画的に実践させることができると思われ、特に指導的立場にいたると思われたらS(秀)となる。	授業で学んだ様々なアウトドアの知識を理解し、それを活かしたキャンプ実践ができると共に技能の向上が図れた場合B(良)。 キャンプに参加し、個人技能の向上が図れなくても、主体的に行動することができればC(可)である。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	科目全体事前指導 (4月予定)	講義	アウトドア演習についての概要説明を聞き、内容を理解することができる。	(予習) アウトドア活動としてのキャンプとはどのようなものか調べる。 (復習) アウトドア活動としてのキャンプについて復習する。	90	課題発見力 傾聴力 規律性
2	キャンプ事前指導 ① 参加調整 (6月予定)	講義・演習 (復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	参加についての調整とキャンプについての理解をすることができる。	(予習) キャンプの知識について調べる。 (復習) キャンプの知識について復習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
3	キャンプ事前指導 ② アウトドア料理の実践 (7月予定)	オンデマンド 各自で料理を自分でつくってみる (復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	料理の練習をし、能動的に基本技術を身につけることができる。	(予習) キャンプ・レクリエーションアウトドア調理について調べる。 (復習) レクリエーションの確認をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
4	キャンプ事前指導 ③ レクリエーション・リスクマネジメント (8月上旬予定)	演習グループワークで アクティブ・ラーニング (復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	安全指導の確認をし、直前準備やレクリエーションを能動的に行うことができる。	(予習) 基本準備とレクリエーションの内容を確認する。 (復習) 準備の再度確認し振り返る。	90	主体性 実行力 計画力 発信力 規律性
5	キャンプ場実習 1日目 午前に移動中のレク実践と食事・購入計画による実習を体験 ・獲得した知識や技術により活動内での課題を解決するというpisa型学力も意識する。	学外実習(集中) グループワークで アクティブ・ラーニング (復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	レクリエーションの実践と食事計画と購入計画にもとづく実習を積極的に体験することができる。	(予習) グループ分けにより、各担当の調理とレクリエーション企画書を作成して、それに基づき、各担当を運営していく。 (復習) 各担当の運営がうまく進めることができたかを反省し、記録を残していく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
6	キャンプ場実習 1日目午後 ① 夕食の調理 ・獲得した知識や技術により活動内での課題を解決するというpisa型学力も意識する。	学外実習(集中) グループワークで アクティブ・ラーニング (復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	アウトドア調理①の実習を体験する ex. カレーライス作りと飯盒炊さんを協力して積極的に体験することができる。	(予習) グループ分けにより、各担当の調理とレクリエーション企画書を作成して、それに基づき、各担当を運営していく。 (復習) 各担当の運営がうまく進めることができたかを反省し、記録を残していく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
7	キャンプ場実習 1日目午後 ② ナイト・レクを実施 ・獲得した知識や技術により活動内での課題を解決するというpisa型学力も意識する。	学外実習(集中) グループワークで アクティブ・ラーニング (復習内容の質問に対して口答でフィードバック)	ナイトイベントのレクリエーション①を企画し協力して積極的に実践することができる。	(予習) グループ分けにより、各担当の調理とレクリエーション企画書を作成して、それに基づき、各担当を運営していく。 (復習) 各担当の運営がうまく進めることができたかを反省し、記録を残していく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
8	キャンプ場実習 2日目午前 ① 朝食の調理 ・獲得した知識や技術により活動内での課題を解決するというpisa型学力も意識する。	学外実習(集中) グループワークで アクティブ・ラーニング (復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	アウトドア調理②の実習を体験する ex. パンとサラダ作りを協力して積極的にできる。	(予習) グループ分けにより、各担当の調理とレクリエーション企画書を作成して、それに基づき、各担当を運営していく。 (復習) 各担当の運営がうまく進めることができたかを反省し、記録を残していく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	キャンプ場実習 2日目午前 ② 沢登りを体験 ・獲得した知識や技術により活動内での課題を解決するというpisa型学力も意識する。	学外実習(集中) グループワークでアクティブ・ラーニング(復習内容の質問に対し口答でフィードバック)	レクリエーション②としての山ハイキングを企画し粘り強く体験することができる。	(予習) グループ分けにより、各担当の調理とレクリエーション企画書を作成して、それに基づき、各担当を運営していく。 (復習) 各担当の運営がうまく進めることができたかを反省し、記録を残していく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
10	キャンプ場実習 2日目午後 ① 昼食の調理 ・獲得した知識や技術により活動内での課題を解決するというpisa型学力も意識する。	学外実習(集中) グループワークでアクティブ・ラーニング(復習内容の質問に対し口答でフィードバック)	アウトドア調理③の実習を実践する ex. 流しソーメン作りを協力して積極的に体験することができる。	(予習) グループ分けにより、各担当の調理とレクリエーション企画書を作成して、それに基づき、各担当を運営していく。 (復習) 各担当の運営がうまく進めることができたかを反省し、記録を残していく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
11	キャンプ場実習 2日目午後 ② 水を使ったレクリエーション ・獲得した知識や技術により活動内での課題を解決するというpisa型学力も意識する。	学外実習(集中) グループワークでアクティブ・ラーニング(復習内容の質問に対し口答でフィードバック)	レクリエーション③として水を利用したイベントを企画し、協力して積極的に挑戦することができる。	(予習) グループ分けにより、各担当の調理とレクリエーション企画書を作成して、それに基づき、各担当を運営していく。 (復習) 各担当の運営がうまく進めることができたかを反省し、記録を残していく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
12	キャンプ場実習 2日目午後 ③ 夕食BBQの調理 ・獲得した知識や技術により活動内での課題を解決するというpisa型学力も意識する。	学外実習(集中) グループワークでアクティブ・ラーニング(復習内容の質問に対し口答でフィードバック)	アウトドア調理④の実習を実践する ex. 肉と野菜炒め作りを協力して積極的に体験することができる。	(予習) グループ分けにより、各担当の調理とレクリエーション企画書を作成して、それに基づき、各担当を運営していく。 (復習) 各担当の運営がうまく進めることができたかを反省し、記録を残していく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
13	キャンプ場実習 2日目午後 ④ キャンプファイヤーを体験 ・獲得した知識や技術により活動内での課題を解決するというpisa型学力も意識する。	学外実習(集中) グループワークでアクティブ・ラーニング(復習内容の質問に対し口答でフィードバック)	レクリエーション④をキャンプファイヤーにおいて企画し協力して積極的に体験することができる。	(予習) グループ分けにより、各担当の調理とレクリエーション企画書を作成して、それに基づき、各担当を運営していく。 (復習) 各担当の運営がうまく進めることができたかを反省し、記録を残していく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
14	キャンプ場実習 3日目午前 朝食の調理とキャンプの片付け ・獲得した知識や技術により活動内での課題を解決するというpisa型学力も意識する。	学外実習(集中) グループワークでアクティブ・ラーニング(復習内容の質問に対し口答でフィードバック)	アウトドア調理⑤の実習を実践する ex. みそ汁と炒物作りを体験することと協力して積極的に全体の後片付けをすることができる。	(予習) グループ分けにより、各担当の調理とレクリエーション企画書を作成して、それに基づき、各担当を運営していく。 (復習) 各担当の運営がうまく進めることができたかを反省し、記録を残していく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
15	まとめの振り返りレポートを作成	レポートを作成してクラスルームに提出(復習内容の質問に対してクラスルームにてフィードバックする)	体験レポート作成し積極的に発表することができる。	(予習) 体験レポートを作成し、まとめる。 (復習) 記録を確認することでまとめとする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力